

鳥取大学 「鳥取大学における女性研究者研究活動支援事業の取り組み」

鳥取大学は、平成 23 年 10 月に男女共同参画推進室を設置し、学内のニーズ調査やセミナー等を実施してきた。平成 24 年 8 月に、女性研究者研究活動支援事業の対象機関に選定された後、研究活動支援体制を整備することにより教員公募への応募者を増加させるとともに、在職している女性研究者のエンパワーメントを推し進め、上位職に応募可能な実績と高い意識を持つ女性研究者を増加させるための取り組みを行っている。

【鳥取大学の現状と目標】

平成 23 年 5 月 1 日現在の女性教員在職数は、109 名（在職比率 14.7%）であった。平成 26 年 5 月 1 日現在には 130 名（在職比率 17.3%）となった。事業期間終了時の女性教員在職比率の目標は、地域学部 28%、医学部（附属病院を含む）22%、工学部 5%、農学部 10%、鳥取大学全体として 16.8%であり、大学全体としては目標を達成した。プロジェクト研究員を含む女性研究者全体の在職比率では 19%を目標としている。

【推進体制】

鳥取大学の女性研究者研究活動支援事業では、①研究活動支援、②ライフイベントと研究活動を両立させるための諸支援、③女子学生・大学院生のライフキャリアデザイン支援、④男女共同参画推進に向けての啓発活動の四つの柱を活動の中心に置いた。これらの活動により、女性研究者がその能力を最大限に発揮できる環境を整備するとともに、女子学生・大学院生を対象とする裾野拡大の取り組みを通して女性研究者支援を進めている。女性研究者支援を推進する組織として、学長を委員長とする男女共同参画推進委員会の下に男女共同参画推進室を置き、室長（男女共同参画担当理事）、推進室員（併任教員）、専任教員として事業を推し進めるコーディネーター、専任事務補佐員を配置している。

【実施状況】

1. 研究活動支援に向けた取り組み

女性研究者および女性研究者をパートナーとする男性研究者に、研究支援員を配置することにより、育児や介護などのライフイベントと教育・研究活動の両立を支援している。平成 24～26 年度を合わせて、延べ 67 名の研究者に研究支援員を配置した。

2. ライフイベントとの両立支援に向けた取り組み

米子キャンパスでは、附属病院に設置された保育所（定員 95 名）が、病院職員に加えて教職員の子どもを広く受け入れている。自治体等が提供する子育て支援サービスに関する情報をきめ細やかに収集し、女性研究者に速やかに提供するためにホームページを開設した。また、情報提供のために「ワークライフバランス応援ハンドブック（鳥取キャンパス）」「とりだいワークライフ手帳（米子キャンパス）」を作成し、全教職員に配布した。相談者養成に向けた入門研修として、全教職員を対象とするコミュニケーション研修会を、平成 24 年度は 1 回、平成 25～26 年度はそれぞれ 2 回実施した。さらに、コーディネーターを相談員として女性研究者のための相談窓口を開設した。

3. 女子学生・大学院生のキャリアデザイン支援に向けた取り組み

女子学生・大学院生が、学術および科学技術領域において自らの生き方を考える機会を提供することを目的として、平成 24～26 年度に、1 泊 2 日の日程で企業を含む研究機関の見学会を実施した。施設見学に加え、研究職・生産技術職等の女性社員と直接対話する方式で交流会を行った。また、平成 25 年度は、蛋白質科学、建築、宇宙開発等の多様な分野の研究者・技術者をロールモデルとして招き、学生・大学院生との交流会（メンターカフェ）を 3 回開催した。平成 26 年度は、女性研究者が研究と人生について語る講演会「女性科学者が語る研究の醍醐味」を 3 回開催する。

4. 意識改革に向けた取り組み

男女共同参画に関する理解を促進するために、講演会・セミナー等を開催した。平成 25 年 3 月の山崎直子氏による男女共同参画講演会には 380 人が参加した。遠隔地に複数のキャンパスを有する本学においては画期的な参加者数であり、男女共同参画に対する意識向上を図る上で極めて有意義であった。平成 26 年 11 月に、鳥取大学が主催し第 5 回中国四国男女共同参画シンポジウムを開催した。平成 26 年 6 月に、佐々木常夫氏を講師として招き男女共同参画講演会を開催した。参加者は 192 名であり、ワークライフマネジメントに対する意識向上を図る上で極めて有意義であった。平成 26 年 12 月に、女性研究者研究活動支援事業の総括シンポジウムを開催予定である。

【連絡先】 鳥取大学男女共同参画推進室

TEL:0857-31-5769 FAX:0857-31-5797 E-mail: danjyo@adm.tottori-u.ac.jp

URL: <http://www.sankaku.tottori-u.ac.jp/>

事業計画の概要



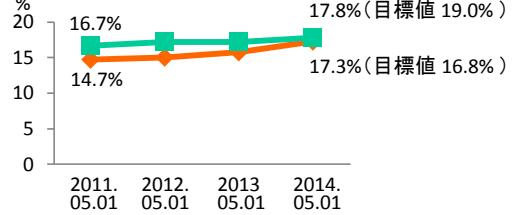
実施体制



鳥取大学における女性教員・女性研究者比率

・女性教員・女性研究者
在職比率の推移

女性教員比率 (◆)
女性研究者比率 (■)



・部局別、職名別女性教員在職比率 (2014年5月1日現在、■女性、■男性)

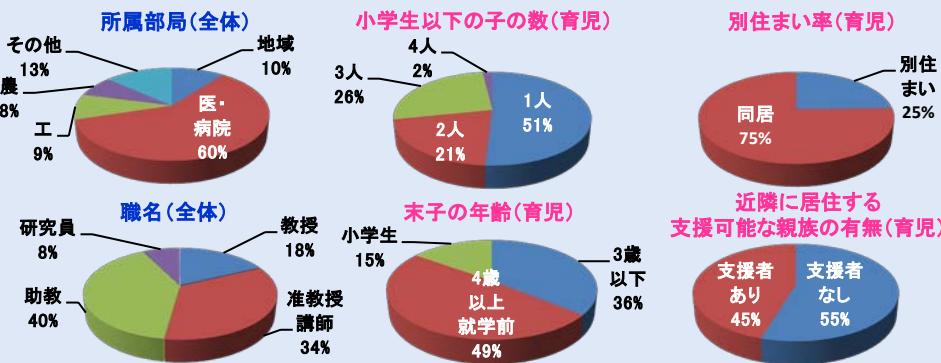


◆研究活動支援◆

研究支援員制度

技術補佐員、リサーチアシスタント、アルバイト等を雇用し、研究支援員として、子育てや介護等のライフイベントにより研究活動における支援と必要としている女性研究者および女性研究者をパートナーとする男性研究者に配置した。

	配置研究者		配置理由		配置研究者 所属部局
	女性	男性	育児	介護他	
第1期 (平成24年度後期)	8	2	7	3	地域、医、工、その他
第2期 (平成25年度前期)	7	3	8	2	地域、医、工、その他
第3期 (平成25年度後期)	11	5	13	3	地域、医、工、農、その他
第4期 (平成26年度前期)	9	5	11	3	地域、医、工、農、その他
第5期 (平成26年度後期)	10	7	15	2	地域、医、工、農、その他



◆女子学生のライフキャリアデザイン支援◆

女子学生・大学院生による企業見学会

女子学生・大学院生を対象とした、企業を含む研究・開発・試験機関等の見学および女性研究者との交流会を行った。

- ・平成24年度 (9月24-25日、参加者30名)
株式会社クボタ 水・環境総合研究所
シャープ株式会社 研究開発本部
- ・平成25年度 (9月24-25日、参加者29名)
大塚製薬株式会社 徳島工場 (能力開発研究所)
大和ハウス工業株式会社 総合技術研究所
- ・平成26年度 (9月25-26日、参加者26名)
サントリーグローバルイノベーションセンター株式会社
神戸製鋼所 神戸総合技術研究所



ロールモデルによる講演会、交流会等

- ・チャレンジしている女性によるギャラリートーク (第1回 ~ 第3回、平成25年6月)
- ・講演会「女性科学者が語る研究の醍醐味」 (第1回 ~ 第3回、平成26年5月・7月、平成27年1月)



第1回 長野希美氏・本野千恵氏 (産総研)、茶谷絵理氏 (神戸大学) 他1名

第1回 田中弘美氏 (立命館大学)

◆ライフイベントとの両立支援◆

子育て・介護に役立つ情報提供

- ・情報提供のため新ホームページ、フェイスブックの運用開始
- ・地域自治体 (鳥取市、米子市) の子育て支援サービスに関する情報収集および情報提供
- ・鳥取市のNPO法人KiRALiによる非施設型病児病後児保育に関する説明会
- ・「ワークライフバランス応援ハンドブック」「とりだいワークライフ手帳」を作成し全教職員に配布



女性を対象とする相談活動

- ・相談員養成の入門研修として **コミュニケーション研修会を開催**
第1回 (平成25年3月)、第2回・3回 (平成25年8月、9月)、第4回・5回 (平成26年9月)
- ・男女共同参画推進室専任教員が相談員となり、女性研究者、女子学生、女子大学院生を対象とする **相談窓口開設** (平成25年4月)



◆啓発活動◆

講演会・セミナー

- ・河合江理子氏 (京都大学) による講演会
- ・市村櫻子氏 (国立女性教育会館) による講演会
- ・山崎直子氏による男女共同参画講演会「夢を紡いで宇宙で輝く」 (平成25年3月) 米子会場で309名、鳥取会場、浜城会場を合わせて380名が参加
- ・嶋根愛理氏 (JAXA) による男女共同参画講演会「空へ挑み、宇宙を拓く女性たち」を開催 (平成25年6月)
- ・佐々木常夫氏による男女共同参画講演会「働くということ、生きるということ」 (平成26年6月) 鳥取会場で166名、米子会場を合わせて192名が参加



その他

- ・「日本初的女性弁護士 中田正子」展
- ・家族と仕事を考える写真展「獣医師の見たモンゴル」
- ・男女共同参画週間に向けたパネル展「チャレンジした女性たち」
- ・読書ゼミナール「女性科学者に学ぶ」
- ・映画「ペアテの贈り物」上映
- ・第5回中国四国男女共同参画シンポジウム (平成25年11月)

